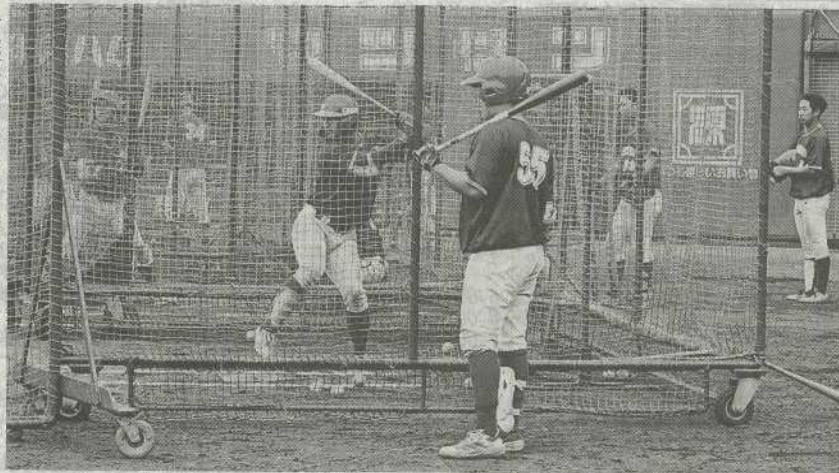


社会人野球 マツゲン箕島

強力

投手陣＋打線 連覇へ

打撃練習する竹中夢翔選手（中央左）や、白滝恵汰選手（背番号55）ら＝有田市のマツゲン有田球場で



日本選手権への切符狙う

社会人野球の第49回全日本クラブ選手権大会（毎日新聞社、日本野球連盟主催）が13日、愛媛県で開幕する。県内唯一の社会人硬式野球チームで、有田市を本拠地とする「マツゲン箕島」（3大会連続13回目出場）が連覇に挑み、同時に優勝者が手にする日本選手権（10月28日開幕、京セラドーム大阪）への切符を狙う。強力な投手陣を擁し、全国16チームの頂点を目指す。【藤木俊治】

あす開幕 全日本クラブ選手権

「（投球の）入りが大 手力だろう。中心は、ス 事やぞー」「粘っていく リークオーターから最速 ぞー」

漁港に近い有田市のマ ツゲン有田球場。企業チ ームとのオープン戦があ ム最年長の坂本龍平投手 った9月上旬、内外野や ンチからは大きな声が 飛んだ。36人が快活に競 争に励むのがグラウンド の日常風景だ。

今回、注目すべきは投

最速148km/hのルーキー

松村亮汰投手（23）も控 え、奥田投手頼みだった 布陣に厚みが増した。打 線はバットコントロール が巧みな白滝恵汰（25）、 一発のある竹中夢翔（24） 両選手の3、4番らが援 護する。

社会人のトップで勝ち 上がる道のりは険しい。 5～6月にあった都市対 抗野球近畿地区2次予 選は初戦で逆転負けし、 その後の第4代表決定

武器でもある。

連覇の先には、前身の

（敗者復活）トーナメン トは1勝に終わった。西 川忠宏監督は「好機でた

大きな波にのみ込まれ てしまった。『心技体』

の心の部分。気持ちの持 ち方の差を改めて痛感し

た」と厳しい表情。オー ン戦数を増やし、「実

戦でしか分らないこと がある。緊張感を持ちな がらできている」（坂本 投手）と、1球に対する 取り組みを更に徹底して きた。

部員らはスパーチェ

ーン「松源」で早朝から

主に店舗で業務をこな

し、午後から日が暮れる

まで練習に励んでいる。

高校や大学では結果が出

ず、社会人に進んで花開

く選手が多いのがチーム

の特徴の一つ。入社1、

4年目の18～25歳、36人

全員が2000年代生ま

れという、若さは大きな

武器でもある。